

# ESTUCO WALL

—INDOOR—

インドア【内装材】

## 施工要領書

Vol.2



施工動画



### 施工前に必ずお読み下さい。

外壁の施工は、仕様が異なりますので外装『エスタコウォール・レボコ』施工要領書をご確認下さい。

#### 厳守する事

①施工後、乾燥するまでの間に、塗った面に水をかけない。  
(内壁は、通気を良くし十分に乾くまで水が当たらないようにする)

②色物については特に水に濡れたコテ、ハケをそのまま使用しない。

※①・②を守らない場合、乾燥後白い模様が入ります。

#### 注意事項

①エスタコウォールは粉製品の為、乾燥した冷暗所で保管して下さい。

②練り置きができません。必要量を練って使い切るよう使用して下さい。

③自然素材の為、石灰成分の茶色の小さい粒が混ざっている場合があります。  
十分にご理解いただき気になるようであれば、施工前に取り除いて下さい。

④アルカリ性の為、木材と触れ合うと木が黒ずむことがあるので事前に十分な養生が必要です。

⑤夏季：直射日光が当たる壁面の施工は、ドライアウト現象（急激な乾燥）が起こり「はく離」・「割れ」の原因となります。施工時間帯等を工夫して下さい。

冬季：施工中・施工後・乾燥までの間に5℃以下になる場合はく離・白華現象・表面が粉っぽくなる場合があります。施工を避けて下さい。

## 下地処理について

### ●適応下地および下地処理

下地の種類	下地処理工程
石膏ボード	◎ジョイント・入隅・出隅にグラスファイバーメッシュテープを貼る。 ◎ボードのカット部分は、シーラーを塗布して下さい。 ◎ボード面に塗料などが付着している場合はシーラーを塗布し密着力を確認して下さい。

#### <シーラーについての特記事項>

シーラーは石膏ボード用等、下地に合わせてご使用下さい。

<推奨品>NSハイフレックス(日本化成)

<特記>NSハイフレックス5倍液(ハイフレックス:水=1:4)シーラーを施工面に塗布。

・塗りつけ作業時の気温が5℃～35℃以外の時は作業を避けて下さい。

### 下地処理の注意事項

- ・『合板・耐水石膏ボード・ハイクリンボード』は、アク止めを全面に処理して下さい。(詳細は、お問合せ下さい)
- ・合板と石膏ボードの取り合い部分は、下地の収縮の違いによりクラックが入る可能性があります。
- ・塗り面の汚れが激しい場合は、汚れの拭き取りやシーラーの塗布などの処置が必要です。
- ・同一面に異質材が並存しているときは、そのまま漆喰を塗ると水引具合の関係から色ムラの原因となることがあります。

## 石膏ボードの貼り方

### ◆壁の場合

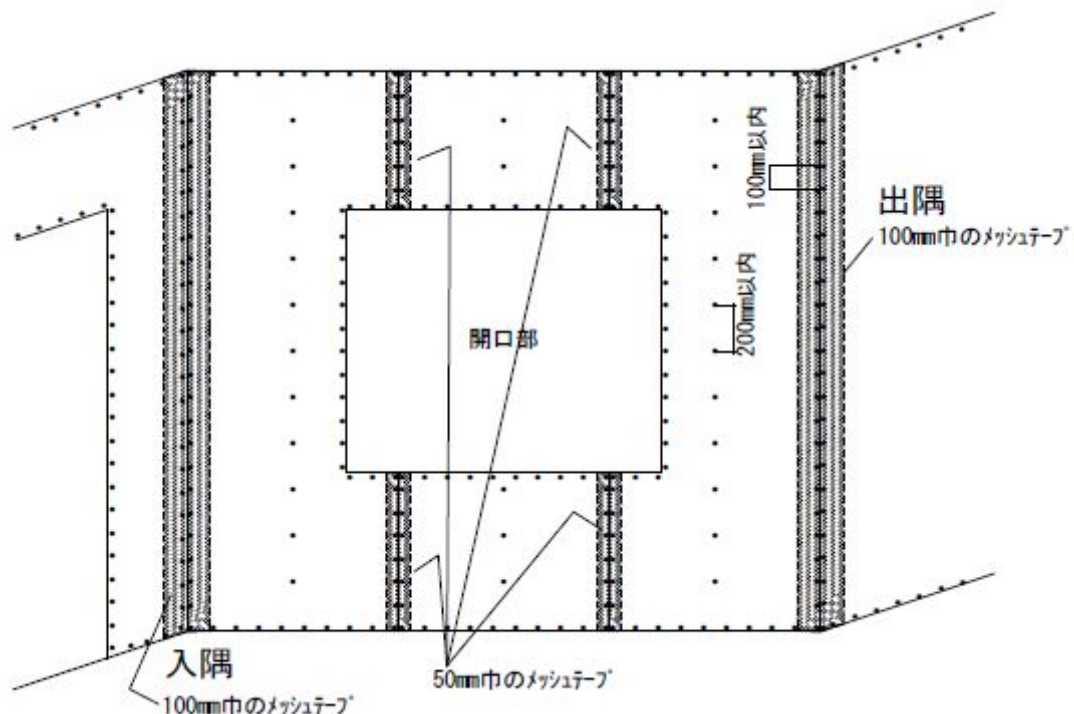
石膏ボードは910mm×2,420mm×12.5mmのベベルボードを使用します。

カット部は角をVカットする。

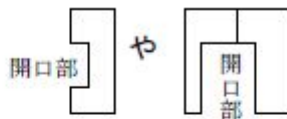
ビスは32mmを使用し、外周部100mmピッチ、中間部200mmピッチでとめる。

ボードのジョイントには50mmのメッシュテープを貼る。

壁の出隅・入隅部分は100mmのメッシュテープを貼る。

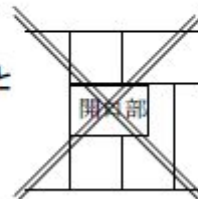


※開口部は必ず



型にボードをカットしてください。

※ジョイント部分が窓・ドアの開口の延長にあるとクラックが発生します。



下地材の石膏ボードを誤った貼り方をした場合、エスタコウォールを施工した後、表面にクラックが発生しやすくなります。十分ご注意ください。

## 石膏ボードの貼り方

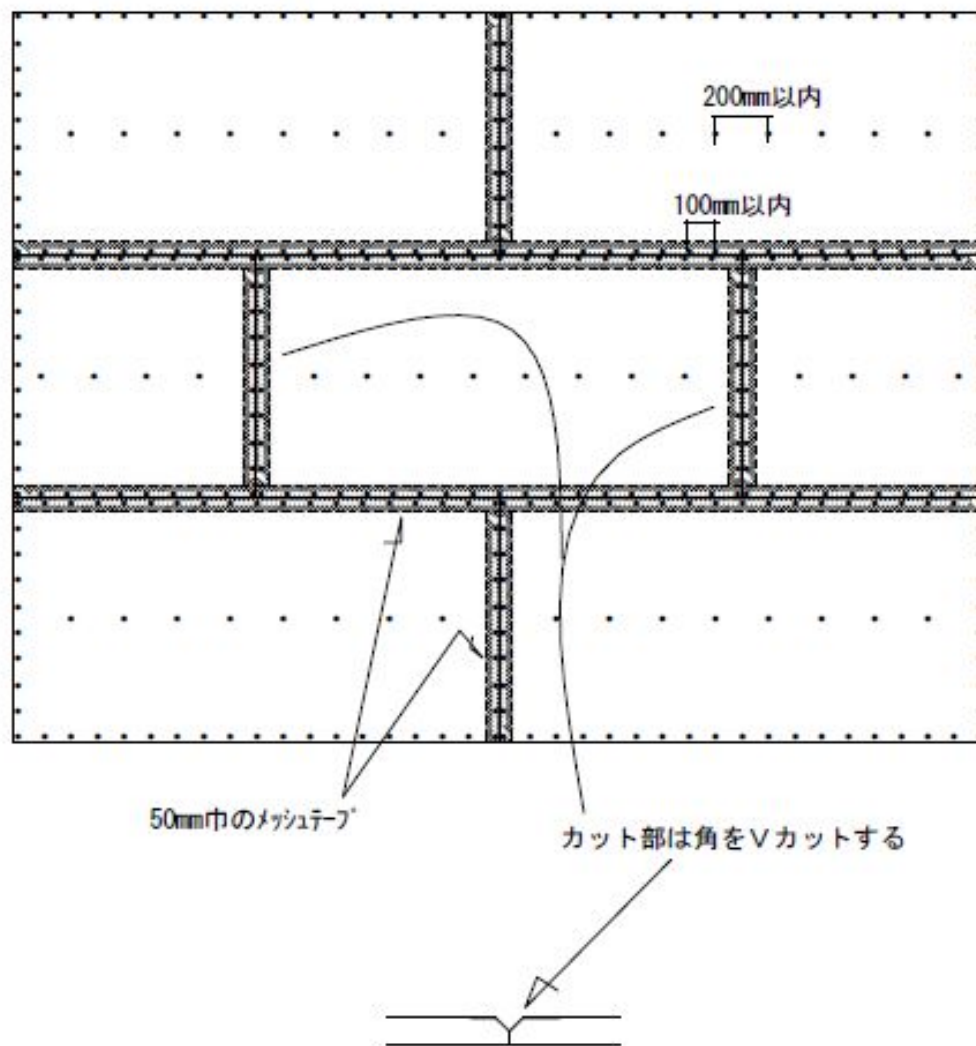
### ◆天井の場合

石膏ボードは910mm×1,820mm×12.5mmのベベルボードを使用します。

チドりに貼る。カット部は角をVカットする。

ビスは32mmを使用し、外周部100mmピッチ、中間部200mmピッチでとめる。

ボードのジョイントには50mmのメッシュテープを貼る

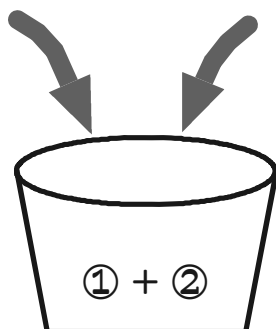


### ●内装:エスタコウォール・インドア仕上げ材の作り方

- ①清水5.0ℓ程度に  
ウォールマイティ1袋の1/4を入れる

水にウォールマイティを入れ、  
かき混ぜる。

注：ウォールマイティをエスタコ  
ウォールに直接入れるとダマにな  
ります。



- ②エスタコウォール・インドア  
1袋を入れる

①にエスタコウォール・インドア 1袋を  
加え、モルタル状に攪拌する。

(気温により、しまり具合が変わるので  
水分量を加減し適度な固さに練り上げる)

注：柔らかすぎると乾燥後、目地跡が出  
る場合があります。とくにフラット仕上  
げの場合は、ご注意ください。

### ●内装:エスタコウォール・インドア 仕上げ

1. エスタコウォール・インドアを十分攪拌し、コテで塗り付け仕上げてください。

- ◆仕上げコテは、ステンレス0.2mmの物が良い
- ◆テクスチャーにより塗りつけ後、仕上げコテ又は、仕上げヘラで突起部をヘッドカットすることが望ましい。  
＜仕上げヘラ推奨品＞フジワラ化学『スムーディ』
- ◆入隅の面は2分の切り付けコテ、出隅の面は4分の面付きコテを使用すると施工しやすい。

※練り直しをする場合は、材料にコシがなくなる場合があるので練りすぎに注意してください。

[ハンドミキサーを使用の場合]低速運転で入り切りを数回繰り返し攪拌。

[手動の場合]レンガゴテで攪拌する。

※エスタコウォール・インドアの厚みは約2~3mmで不陸のないよう施工して下さい。

※塗厚が薄過ぎると乾燥後、目時跡が出る場合や、急激な乾燥により硬化不良となる場合があります。

※色の濃いものは、仕上げ方により色ムラになる場合があります。(コテは一方向に仕上げる)

## ウォールマイティ

エスタコウォールにウォールマイティを加えることで、ヒビ割れ防止効果を発揮します。

注意：使用条件によっては、ヒビ割れが発生する場合があります

＜特記＞ウォールマイティ（ヒビ割れ抑制剤）90g/1袋 ※エスタコウォール4袋にウォールマイティ1袋必要

#### 下記の場合、施工を避けて下さい

- ・酷暑時で、施工面に直射日光・西日が当たっている時又は、下地が高温の時
- ・梅雨などの湿度が高い場合
- ・施工後、乾燥までの間に5℃以下になる場合

#### 施工上の注意

- ・施工面に振動を与えるような作業を終えてから塗り壁工事を始める。
- ・塗り面の汚れが激しい場合は、汚れの拭き取りやシーラーの塗布などの処置が必要です。
- ・他の塗料の調合は避ける（ただし、同じ素材は混ぜても問題はない）
- ・着色する場合、色むらを防ぐため、最初に空合わせを十分する。

## ①下地処理

1. ビニールクロスが剥がれている箇所はノリ又は、タッカーで留めておく。

注意：クロスの状態が良い場合、壁紙を剥がさないで下さい。

(裏紙が残っている状態で施工すると、しわ・ふくらみ・剥がれることがあります)

クロスの状態が悪い場合、石膏ボードをはり直して下さい。

2. 施工面のビニールクロスの汚れを落とす。

## ②ジョイント処理

壁紙のジョイントに必ずグラスファイバーメッシュテープを貼る。

## ③シーラーを塗る

壁・天井に全面アク止めシーラーを塗る。

※アク止めシーラーを塗ってもアクがでる場合がありますので必ず試し塗りをしてください。

## ④エスタコウォール・インドア仕上げ／前ページP4の施工手順と同じ

リフォームの場合、アクや、下地の異質材の並存によるクラックが生じる可能性が高く、十分に注意し施工を行って下さい。

ご不明な点がございましたら裏表紙の連絡先までお問合せ下さい。

## 白華現象

### ◆白華現象について

白華（はっか）とは、漆喰やコンクリートの表面部分に浮き出る白い生成物のことです。これが浮き上がる現象を白華現象といいます。白華が生じたとしても、強度には問題はなく生成物も無害であるが、外見上の問題となることがあります。これらの白い跡形は、漆喰粉に水を加えた時の反応により生成される炭酸カルシウムです。

### 起こりやすい環境

施工時・施工後・乾燥までの間に低温（5℃以下目安）になる場合  
多湿時での施工

※着色したエスタコウォール・インドアを使用する場合は、特に白華現象が気になることがありますので、工期中の気候（気温・湿度）を十分検討の上での施工が必要です。

※エスタコウォール・インドアの塗り面が十分乾燥するまで（最低でも2、3日）は塗り面を触らない。換気をする。

・市販の白華防止剤がありますが、施工中・施工後の条件により、完全に白華現象を防止できるものではありません。

## エスタコウォール・インドア 施工後、塗り面が粉っぽくなる場合

エスタコウォールに含まれる成分、炭酸カルシウムが空気や水にふれる事で施工後、表面が粉っぽくなる場合があります。又、塗り方によるドライアウトにもご注意ください。  
自然素材ですので、上記の現象は状況によりおこる可能性があります。

## メンテナンス方法

### クラックの補修

- ①施工乾燥後クラックの補修をする場合は、同色のエスタコウォール・インドアを細かい目のふるいにかけて骨材を取り除き、適量の水と少量のシーラーを混ぜペースト状に練る。
- ②クラック部分を水で濡らし、①をハケやコテでクラック部分に塗り付ける。
- ③余分なエスタコウォール・インドアをウエス・スポンジ等で拭き取り、周りの塗り面となじませる。

※補修した部分と最初に塗った部分とでは、色や表情が合わない場合があります。

### アク・汚れを落とす

洗剤による洗浄方法もあります。（ESTUCO WALL洗浄液のご購入は別途、お問合せ下さい）



●研修会・その他

- ・毎月1回程度、下記住所にて研修会を開催しております。詳細はお問合せ下さい。
- ・施工方法でご不明な点は、お問合せ下さい。

株式会社 プロホーム・大台 資材部

TEL:0598-86-3877 FAX:0598-86-3212 <http://estuco-wall.com>